

## 植林作業体験に45人

未明の雨に、コンディションを心配したが、1時過ぎには雨も止んで南風が強く、「なんとかなりそう」との判断。

朝7時30分に境港から7人、米子から6人、南部町から2人、生山駅から7人の方々をバスで案内した。バスの御一行様には全国でも10指にはいる大イチョウの木のある大石見神社で多田宮から大國主にまつわるお話を聴き、その後花見山に向かった。

花見山はあいにくガスで曇っており、グレンデ中途付近で車を止め、まだ花盛りとなっているマツムシ草をひと時の間、愛で下山した。途中で、井上靖記念館に立ち寄り、井上先生と日南町の関わりを勉強していただいた。

植林作業場所に着くと、コンビニのローソンの13人の皆様がすでに到着されており、全員勢揃いとなった。

参加者

コンビニのローソン関係	13人
郵便事業会社関係	11人
境港市内環境事業企業	6人
一般参加者	5人（2回目の参加者2人）
計	35人
サポート隊	10人
計	45人

用意した苗 1,000本

作業開始に当たり、矢田理事長の挨拶、ローソンからは地元の江府店の安達亨司店長からご挨拶をいただいた。

作業に当たっての注意事項、植樹のやり方を、福岡さんから指導アドバイスをいただき、サポート隊のバックアップにより、作業を進めた。

午前約一時間の作業を終え、昼食は付近の福栄小学校（木造で100メートル廊下が有名）で焼き頃を思い出し大盛の弁当を皆が完食。

13時過ぎに現場に入り、14時10分にすべて植え終わった。

終了後の記念写真を撮り、たまたまの出会いに声を掛け合い、それぞれの帰途に就いた。

バスの皆さんには、役場駐車場で行われている「にちなんふるさとまつり」に寄り道していただきました。



## バイオマスに関する取組

町内の森林資源を最大限活用しようと、いろんな形でバイオマスを活用した産業をおこすべく、研究調査に取り組んでいます。

一つには、杉やヒノキのチップから抽出したエキスを商品化できないかという取り組みを行なっています。とくに、山にはいたるところにクロモジがあったことを記憶されている方も多いと思います。このクロモジは高価な抽出液が取れると聞いております。

日野町にある環境産業の会社を窓口として、鳥取大学とアロマオイル販売会社そして町内の多里地区の有志と㈱オロチによるグループで抽出実験にとりくんでいます。（鳥取県産業振興機構からの助成を受けています）

去る8月に器具を借り入れ、現在実験的にいろんなバイオマス（果実も含む）から取り出しデータを蓄積しています。抽出技術は奥深く、「加圧」「減圧」「蒸留」などの手法がありますが、いま行っているのは減圧による抽出です。

このように、地域の「手の届くところ」にある資源を活用し、新たな産業を興そうと頑張っております。

